

# **STAR**

## **小型ロールベアラ**

ネットバインディング仕様

### 取扱説明書・部品表

製品コード

K49288

・K49289

・K49290

型式

MRB0860・MRB0860-0S・MRB0860-4S

部品供給型式

ARB0860-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

---

**スター農機株式会社**

# ⚠️ 安全に作業するために

## 安全に関する警告について

本機には、⚠️ 印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

### 警告ラベルについて

#### ⚠️ 危険

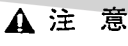
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

#### ⚠️ 警告

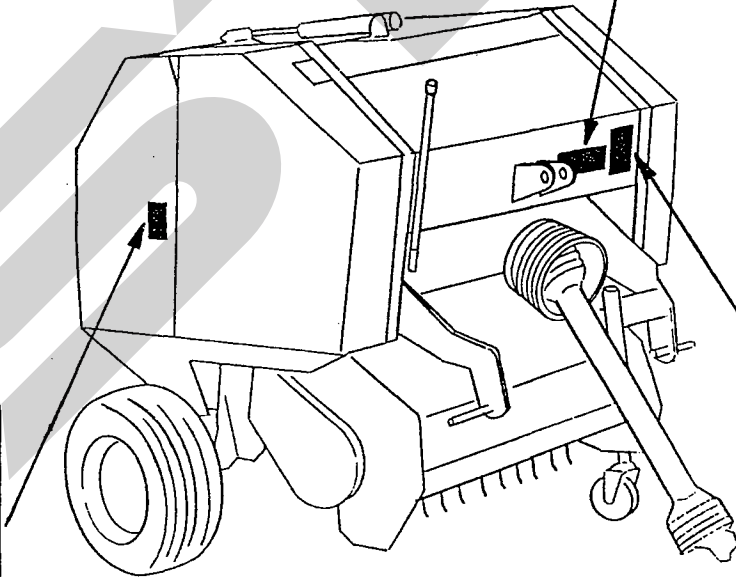
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

#### ⚠️ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

 <b>注意</b>	<p>本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>作業に適した、だぶつきのない服装で行ってください。</li> <li>酒を飲んだとき、疲労、病気や怪傷しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。</li> <li>本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。</li> <li>運転時には、必ず点検や調整をして下さい。</li> <li>点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力減速や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。</li> <li>点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。</li> <li>他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。</li> </ol>
---	--



部品番号 106419



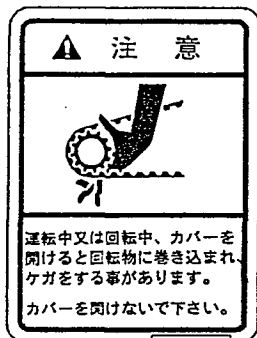
 <b>警告</b>

<p>ゲートを閉じる時、中に人がいるとゲートに挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないで下さい。</p> <p>ゲートを開けて点検・調整する時は、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定して下さい。</p>

部品番号 106485

 <b>警告</b>

<p>運転中又は回転中、ピックアップに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないで下さい。</p> <p>ピックアップへの手供給は、危険です。やめて下さい。</p> <p>ピックアップ部に草が詰まった時は、必ずPTOおよびエンジンを切ってから除去して下さい。</p>

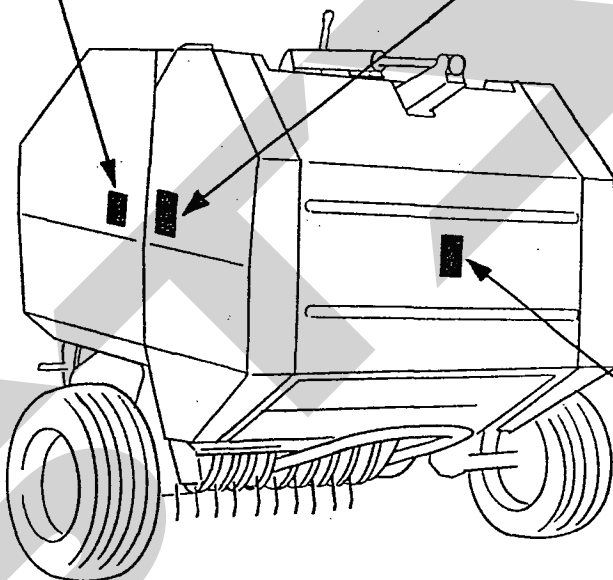
部品番号 106479



部品番号 106498



部品番号 106485



部品番号 106489

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

### 作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

#### ▲ 注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

#### ▲ 注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

#### ▲ 警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
  - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
  - 酒を飲んだ時。
  - 機械操作が未熟な人。
  - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

#### ▲ 警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
  - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

#### ▲ 警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

#### ▲ 注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

#### ▲ 注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

#### ▲ 警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行くと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。  
窓、戸などを開け、十分に換気してください。
- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。  
PTOを切ってから始動してください。

#### 作業機を着脱する時は

##### ▲ 警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入っていると、挟まれてケガをする事があります。  
トラクタと作業機の間に入人を近づけないでください。

##### ▲ 注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。  
切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。  
トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

#### パワージョイントを使用する時は

##### ▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
損傷したらすぐに取り替えてください。  
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。  
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。  
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

##### ▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。  
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きる事があり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。  
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。  
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

#### 公道走行時は作業機の装着禁止

##### ▲ 注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車輛法に違反します。  
トラクタに作業機を連結しての走行はしないでください。

#### 移動走行する時は

##### ▲ 危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。  
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

##### ▲ 警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。トラクタには、運転者以外の人を乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。  
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。  
低速走行してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。  
路肩は走行しないでください。
- 高低差の大きい段差を乗り越えようとする時、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。  
あゆみ板を使用してください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。

#### ▲ 注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。  
移動走行する時は、PTOを切ってください。

## 作業中は

### 作業する時は

#### ▲ 警告

- 運転中または回転中、ピックアップに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。  
ピックアップへの手供給は、危険です。  
やめてください。  
ピックアップ部に草が詰まった時は、必ずPTOおよびエンジンを切ってから除去してください。
- 運転中または回転中、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。  
ローラに触れないでください。  
ローラに草が巻き付いた時は、PTO及びエンジンを切ってから除去してください。
- ゲートを開ける時、後方に人がいると壁などの間に挟まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。  
後方をよく確認してから開けてください。
- ゲートを閉じる時、中に人がいるとゲートに挟まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。  
ゲートを開けて点検・整備する時は、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。
- 傾斜地で排出するとボールが転がり、巻き込まれてケガをする事があります。  
ボールの排出は、平坦な場所で行ってください。
- トワインやネットを収納する時、およびトワインやネットを通す時、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめてから行ってください。
- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。

- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。

指定回転速度を守ってください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には人や物などはのせないでください。

- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。

低速で作業してください。

下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。

坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおろしてください。

- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。

前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。

しっかりとハンドルを握って運転してください。

#### ▲ 注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
カバーを開けないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### トラクタから離れる時は

#### ▲ 警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。

平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。

- トラクタから離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。

下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

## 作業が終わったら

### 機体を清掃する時は

#### ▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 終業点検の励行

#### ▲ 注意

- 作業後の点検を怠ると、作業機の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。  
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

## 不調処置・点検・整備をする時

#### ▲ 警告

- トワイン巻付装置やネット巻付装置を調整する時、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
PTOおよびエンジンを切ってから行ってください。
- ゲートを開けての点検・整備中、不意にゲートが閉まり、挟まれてケガをする事があります。  
ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。
- ネット巻付装置を点検・調整中、不意にナイフアームが閉まり、ナイフとシャバーに腕・指等を挟まれてケガをする事があります。  
ゲートを全開し、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定するか、ナイフアームが動かない様に固定してください。

#### ▲ 注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。  
取扱説明書に基づき行ってください。
- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。  
トラクタローリンクの油圧回路をロックして行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに点検・整備をすると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルで、ケガをする事があります。  
補修もしくは部品交換してください。  
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

# も く じ



## 安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	6
作業前に	3	不調処置・点検・整備をする時	6
作業中は	5		

## 1

### トラクタへの装着

1 ネットバインディングの各部の動作とはたらき	9	2 トラクタへの装着	12
		1. ネット繰出レバーロープの取付け	12
		2. ネットロールの装着	12

## 2

### 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	13	2 給油箇所一覧表	13
1. ネットバインディングの点検	13		

## 3

### 作業の仕方

1 作業のための調整	14	2 作業要領	14
1. ネット巻数の選択	14	1. 実作業の要領	14



## 4 点検と整備について

1 点検整備一覧表	…………… 16	2 各部の調整	…………… 16
		1. 梱包密度検出リンクの調整	…………… 16
		2. リミットスイッチの調整	…………… 17
		3. フラットローラとゴムローラの 接触荷重の調整	…………… 17
		4. Vベルトのストッパ調整	…………… 17
		5. ナイフアームのセット調整	…………… 17
		6. ナイフとシャバーの調整	…………… 17

## 5 不調時の対応

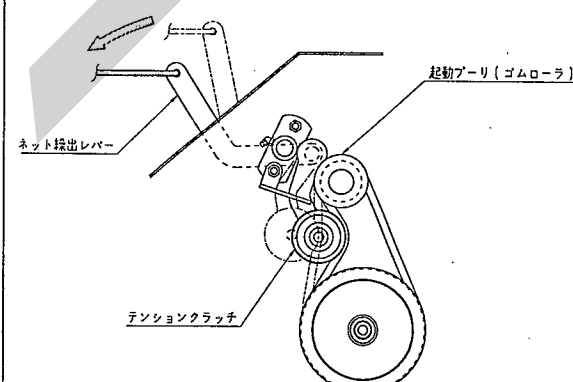
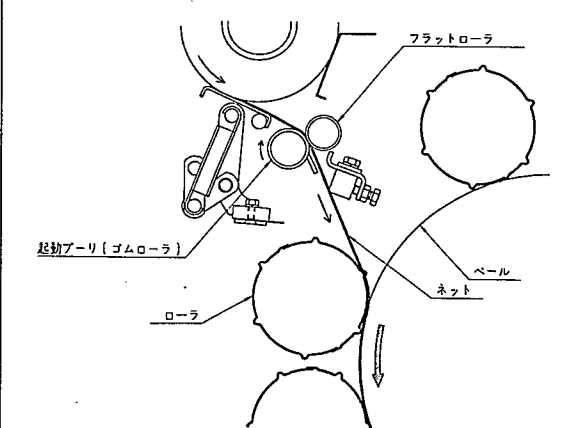
1 不調処置一覧表	…………… 18
-----------	----------

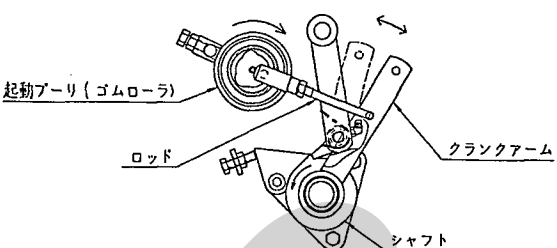
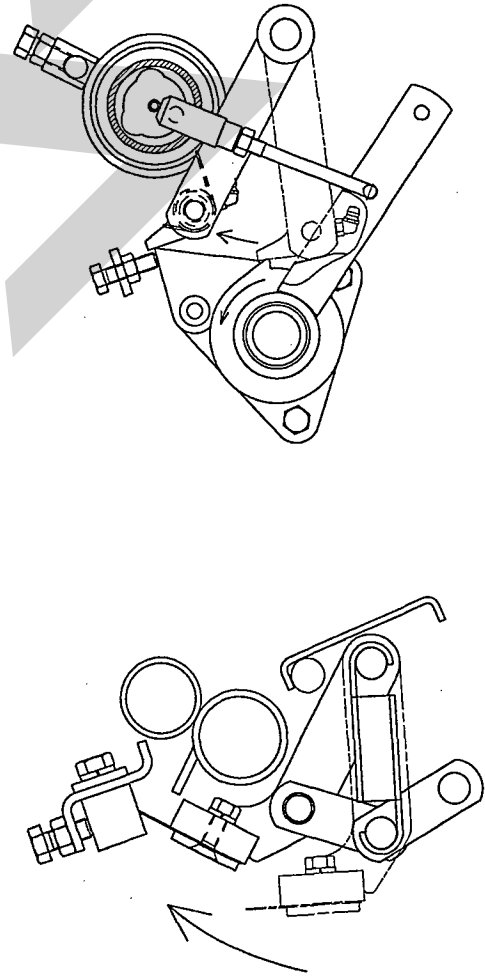
6 部品表	…………… 20
-------	----------

- 本取扱説明書は、ネットバインディング装置に関連する事項についてのみ説明しています。  
トワインバインディング仕様の小型ロールペーラと同一項目の内容に付いては説明を省略させていただいて  
ます。お手数でも部品供給型式ARB0850の取扱説明書を参照願います。

# 1 トラクタへの装着

## 1 ネットバインディングの各部の動作とはたらき

	各 部 の 動 作 と 働 き	図 解
ベ ー ル 完 成	<p>(1) チャンバー内のペールが所定の密度に達すると、ブザーが鳴り、ペールの完成を知らせます。</p> <p>(トラクタの走行を止め、PTO回転速度を350～500rpmにして、ネット繰出レバーを1～2秒引きます)</p>	
ネ ッ ト 繰 出	<p>(2) ネット繰出レバーに連動したテンションクラッチが作動し、Vベルトを押し、起動プーリ（ゴムローラ）を回転させます。</p>	
	<p>(3) 起動プーリが回転すると、ゴムローラとフラットローラ間からネットが繰り出されます。 (繰出レバーを引いている間 1～2秒)</p>	
	<p>(4) その後はチャンバー内に繰出されたネットがペールとローラに挟まりながらペールに巻き付き、ペールの回転力でネットを引っ張りゴムローラを駆動します。</p>	

各部の動作と働き	図 解
<p>(5) 回転する起動プーリ（ゴムローラ）に連結したロッド・クランクアームを介して、シャフトは間欠回転で回転します。</p>	
<p>(6) 約1回転すると、シャフトの突起部が押し上げアーム先端のラッチがストッパから外れます。 その瞬間アームは解放され、連動しているナイフアームもスプリングの張力により作動し、ナイフがシャバーに当り、ネットを切断します。ボールにより引き込まれていたネットは、切断により停止します。</p>	

ネット巻付・切断

各 部 の 動 作 と 働 き	図 解
<p>(7) ネットロールの回転が停止したことでネットのベールの巻付が完了です。 (パワーパッケージの操作レバーを引き、ゲートを開けベールを放出します。)</p>	
<p>(8) ゲートを開けることによりゲートに連動したロッドがナイフアームを所定の位置に押し、アーム先端のラッチがストッパに掛かり、ナイフアームがスプリングで引っ張られた状態で停止します。</p>	

ベール放出・リセット

※ これで一連のネット繰出し、切断・ベール放出までが完了し、次の梱包作業が可能です。

## 2 トラクタへの装着

### ▲ 警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入っていると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に入を近づけないでください。

### ▲ 注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタへフロントウエイトを取付け、バランスを取ってください。

### 1. ネット繰出レバーロープの取付

#### 取扱い上の注意

ロープはトラクタのタイヤ、パワージョイントに接触しない程度にたるみを持たせてください。

- (1) トラクタの運転席から操作しやすい位置にロープを固定してください。

### 2. ネットロールの装着

### ▲ 警告

- ネットロールを収納する時及び、ネットを通す時、回転部や可動部に接触すると、巻き込まれ、ケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめてから行ってください。

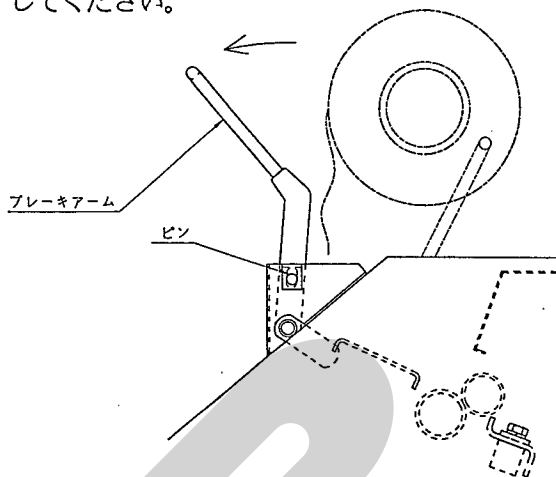
#### 取扱い上の注意

ネットロールはスター純正の次のものを使用してください。

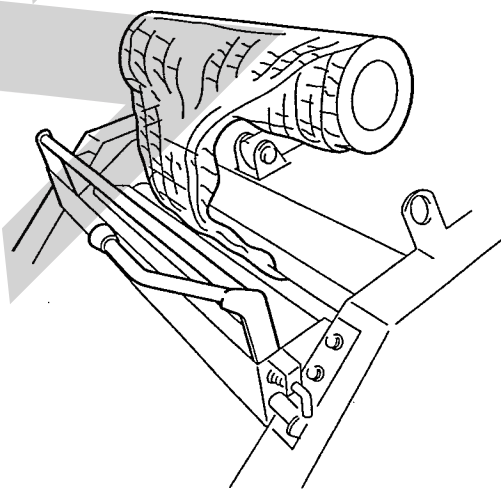
NET0800

純正品以外を使用した場合、取付不可・切断不良・巻付発生等の原因となり、故障につながる可能性があります。

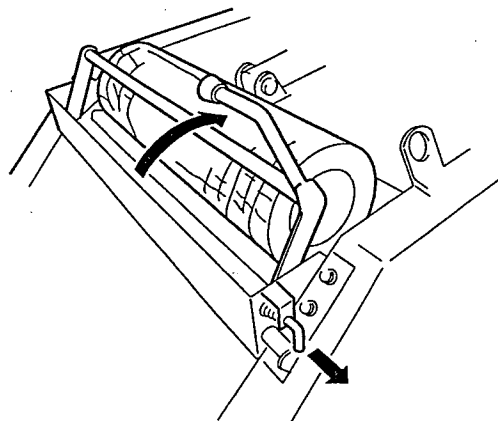
- (1) ブレーキアームを手前側に引いてピンでロックしてください。



- (2) ネットロールの巻き方向は下図の方向とし、束ねてローラとゴムローラの上に置きます。



- (3) ブレーキアームのロックを外し、ネットロールを押さえます。



## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

### 1 運転前の点検

#### 1. ネットバインディングの点検

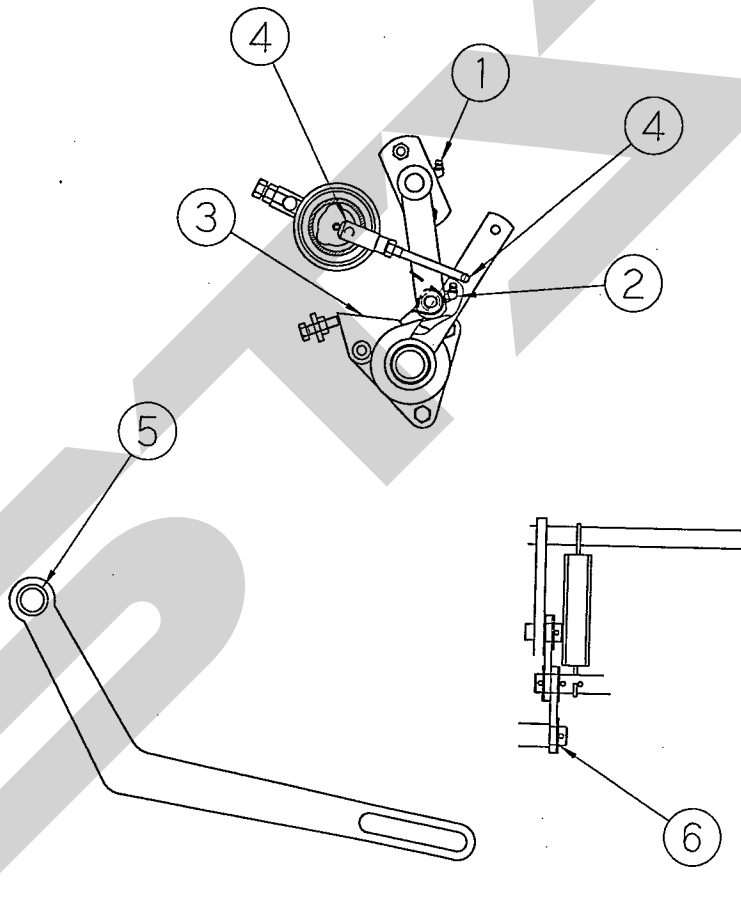
ネットロールは十分にあるか。ナイフアームは正規の位置になっているか。

不具合が見つかった時は、「4-2-5 ナイフアームのセット調整」の説明に基づき、不具合を解消してください。

### 2 給油箇所一覧表

部品供給型式ARB0850の取扱説明書の「2-3 給油箇所一覧表」を参照のうえ、①～⑤、⑧～⑭の箇所に給油してください。

ネットバインディング関連は下記の箇所に給油してください。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	給油量	備考
1	ハウジング	2	グリース; 2号	使用ごと	適量	グリースニップル
2	ラッチ	1	"	"	"	"
3	ストッパ	1	グリース塗布	"	"	
4	クランクアーム支点	2	オイル注油	"	"	
5	ロッド支点	1	"	"	"	
6	アーム支点	6	"	"	"	

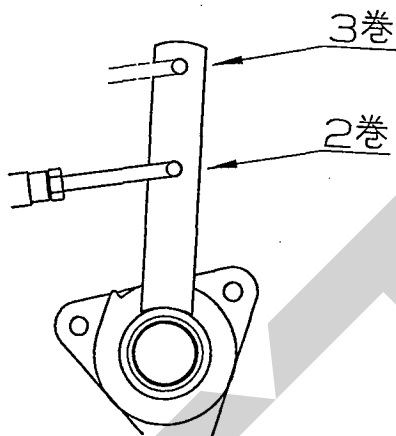
# 3 作業の仕方

## 1. 作業のための調整

### 1. ネット巻数の選択

バールへのネット巻数は、梱包するものや後作業でのハンドリングの回数により調整します。

梱包対象	ハンドリング	クランクアーム位置	巻数
切断ワラ 乾燥ワラ	多 ↑ ↓	上	3
↑ ↓ 牧草・長ワラ	少	下	2



## 2 作業要領

### 1. 実作業の要領

#### ⚠ 警告

- 運転中または回転中、ピックアップに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。ピックアップ部に草が詰まった時は、必ずPTO及びエンジンを切ってから除去してください。
- 運転中または回転中、ローラに接触すると巻き込まれケガをする事があります。ローラに触れないでください。周囲に人を近づけないでください。ローラに草が巻き付いた時は、必ずPTO及びエンジンを切ってから除去してください。

(1) ブザーのスイッチをONにし、PTOを回しウインドローをまたいで走行してください。

PTO回転速度は、梱包するものの水分・性質に応じて変えて作業してください。

梱包するものの水分・性質	PTO回転速度
標準	540rpm
乾燥している・短い	350~450rpm
水分が多い・ピックアップに詰まる	540~600rpm

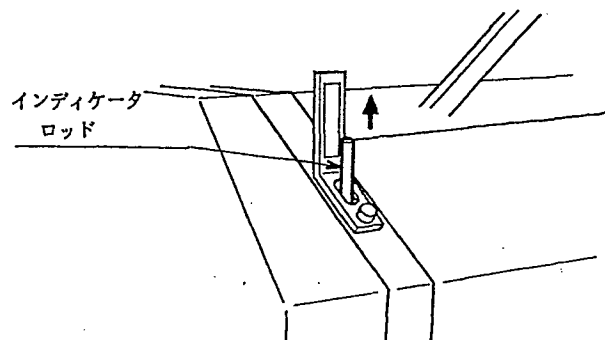
作業速度は、3~5km/hrです。ほ場条件およびウインドローの大きさに合った速度で作業してください。

#### 取扱い上の注意

梱包を成形中及びネット巻付け中はPTOの回転をとめないでください。

(2) チャンバ内の牧草・稲ワラ等の量はインディケータでトラクタ座上から確認できます。

チャンバ内の量が増えると、インディケータロッドが上がってきますので、目安にして作業してください。



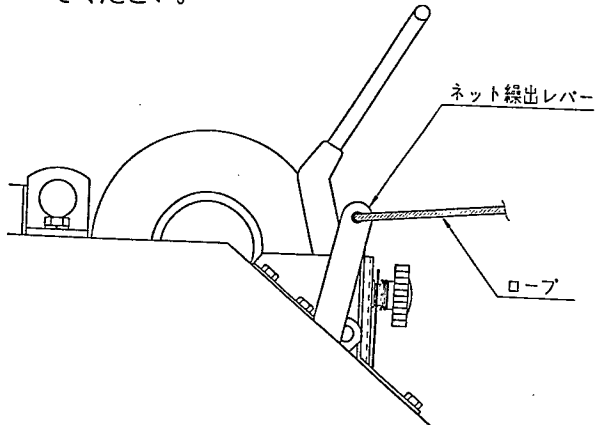
(3) 設定梱包密度に達すると、ブザーが鳴りますので、トラクタの走行を止めてください。

(4) PTOの回転速度を350~500rpmにしてください。

#### 取扱い上の注意

PTOの回転速度が速すぎると、巻付けたネットがバールの中央に寄り、幅狭く巻き付く事があります。

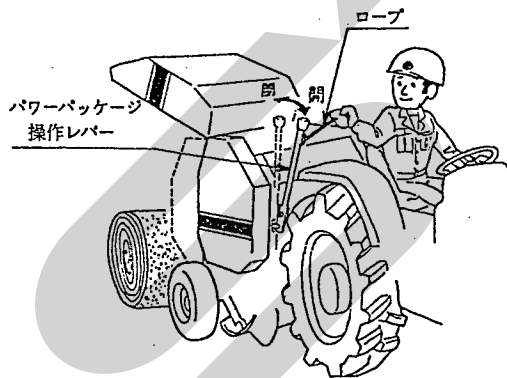
- (5) ネット繰出レバーのロープを1～2秒間引いて、ネットを繰出してください。  
ネットがベールに巻付け始めたらレバーを戻してください。



- (6) ネットの巻付けが終了し、ネットが切断されると、ネットの繰出しが止まります。  
PTOを回しながら、パワーパッケージ操作レバーのロープを引き、ブザーが再度鳴るまでゲートを開け、ベールを排出します。

#### 取扱い上の注意

ブザーが鳴るまでゲートを開けないとネットバインディング装置のナイフアームCPが正規の位置に戻っていないため、ネットの繰出し・切断ができなくなります。



#### 警告

- ゲートを開ける時、後方に人がいると壁などの間に挟まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。  
後方をよく確認してから開けてください。
- 傾斜地で排出するとベールが転がり、巻き込まれてケガをする事があります。  
ベールの排出は、平坦な場所で行ってください。

- (7) ベールの排出が終わったらパワーパッケージ操作レバーを戻してゲートを締め、次の作業に入ります。



## 4 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に点検・整備を行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

タイン、シャーボルト、ナイフ、シャバー、ネット、トワインは消耗品となっています。

摩耗、折損、消耗した時は交換、補充してください。

### ▲ 警告

- トワイン巻付装置やネット巻付装置を調整する時、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
PTOおよびエンジンを切ってから行ってください。
- ゲートを開けての点検・調整中、不意にゲートが閉まり、挟まれてケガをする事があります。  
ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。

- ネット巻付装置を点検・調整中、不意にナイフアームが閉まり、ナイフとシャバーに腕・指等を挟まれてケガをする事があります。  
ゲートを全開し、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定するか、ナイフアームが動かないように固定してください。

### ▲ 注意

- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。  
トラクタローリンクの油圧回路をロックして行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに点検・整備をすると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処 置
作業後 (又は作業前)	ネット切断ナイフの摩耗、破損 シャバーの摩耗 Vベルトの損傷、伸び ネットの消耗	交 換 交 換 交 換 交 換

### 2 各部の調整

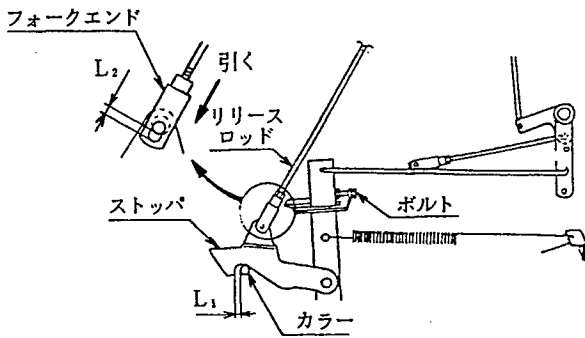
#### 1. 梱包密度検出リンクの調整

(1) ストップとゲートのカラーのすきまをボルトで調整します。

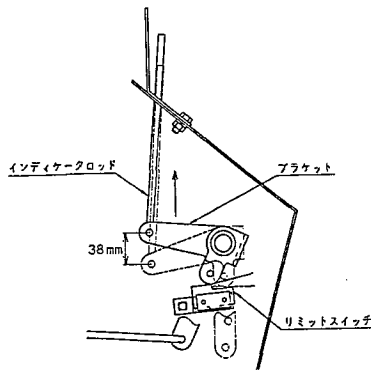
$L_1 = 1 \sim 2 \text{ mm}$ が適正です。

(2) リリースロッドに付いているフォークエンドのピンを外して、リリースロッドを下方に引き、フォークエンドの穴とストップの穴のズレをフォークエンドで調整します。

$L_2 = 2 \text{ mm}$ が適正です。

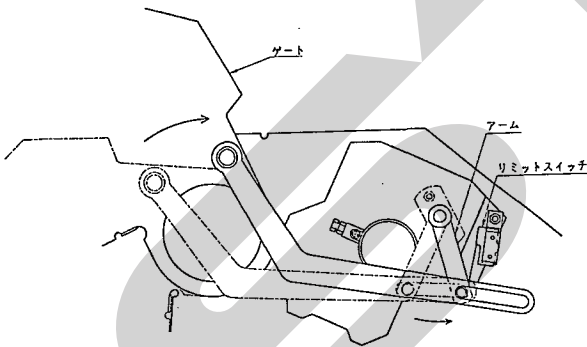


(3) インディケータロッドが38mm動いたときにスイッチが作動し、ブザーが鳴る様にブザーの位置を調整してください。



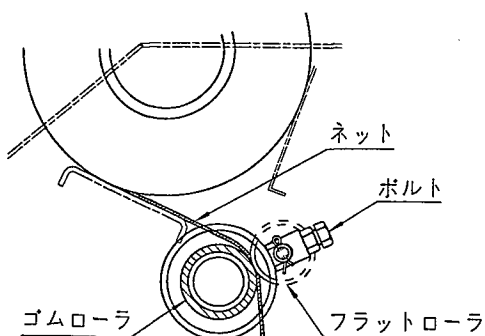
## 2. リミットスイッチの調整

ゲートが最大開いた状態でブザーが鳴る様に、リミットスイッチの位置を調整してください。



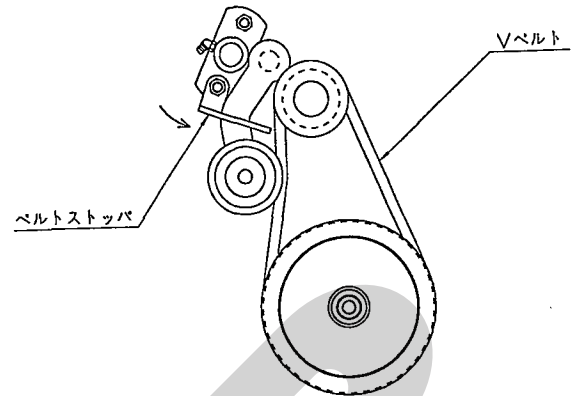
## 3. フラットローラとゴムローラの接触荷重の調整

ネットを繰出した時、ローラとゴムローラの間でネットがすべって出ない時は、ローラとゴムローラの接触荷重をボルトで調整してください。



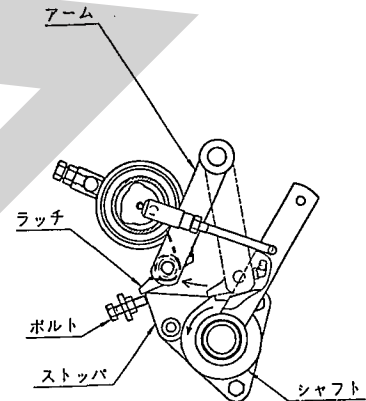
## 4. Vベルトのストッパ調整

Vベルトがつかれる場合はベルトストッパをVベルトと軽く接触する程度まで調整してください。



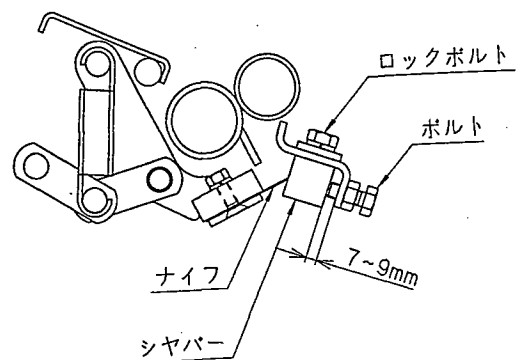
## 5. ナイフアームのセット調整

- (1) ゲート全開時、アーム先端のラッチがストッパに掛かる様にストッパの位置を仮決めします。
- (2) シャフトを回転してラッチがストッパから外れる様にボルトで調整します。



- (3) 再度ゲートを全開し、ラッチがストッパに掛かる事を確認してください。

## 6. ナイフとシャバーの調整



ロックボルトを1/2回転程度緩めてからボルトでナイフとシャバーのスキマがなくなるように調整してください。

シャバーとナイフは裏返しても使用できます。

## 5 不調時の対応

万一、機械の調子が悪い場合は、不調処置一覧表に基づき処置してください。

### ▲ 警告

- トワイン巻付装置やネット巻付装置を調整する時、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
PTOおよびエンジンを切ってから行ってください。
- ゲートを開けての点検・調整中、不意にゲートが閉まり、挟まれてケガをする事があります。  
ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。
- ネット巻付装置を点検・調整中、不意にナイフアームが閉まり、ナイフとシャバーに腕や指等を挟まれてケガをする事があります。  
ゲートを全開し、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定するか、ナイフアームが動かない様に固定してください。

### ▲ 注意

- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。  
トラクタローリンクの油圧回路をロックして行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに点検・整備をすると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 1 不調処置一覧表

	症 状	原 因	処 置
ネ ッ ト バ イ ン デ ィ ン グ 部	・ ネットがローラに巻き付く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクレーパが曲がってゴムローラとのスキマが広がっている</li> <li>・ ナイフアームが正規の位置にセットされていない時にネットを繰出した</li> <li>・ ゲートの開き量不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクレーパの曲がりを直す</li> <li>・ ゲートを全開し、ナイフアームが正規の位置に止まるようにする</li> <li>・ ゲートをブザーが鳴るまで全開後、閉めるようにする</li> </ul>
	・ ネット繰り出しレバーを引いてもネットが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ローラとゴムローラとの間でネットがスリップしている</li> <li>・ Vベルトが切れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「4-2-3 フラットローラとゴムローラの接触荷重の調整」に基づき調整</li> <li>・ Vベルト(A-28)を交換</li> </ul>
	・ 作業途中で勝手にネットが繰出される	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴムローラがVベルトでつれ回っている。</li> <li>・ ブレーキアームがネットロールを押しさえていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「4-2-4 Vベルトのストッパ調整」に基づき調整</li> <li>・ 「1-2-2 ネットロールの装着」に基づき調整</li> </ul>

	症 状	原 因	処 置
ネット バイ イン ディ ング 部	・ネットが切れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイフ又はシャバーが摩耗・破損している</li> <li>・作業中、ストッパが外れてゲートが開いている</li> <li>・ナイフとシャバーの間にスキマがある</li> <li>・ナイフアームが正規の位置に止まっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部品表を参考に交換又は裏返して再取付する</li> <li>・部品供給型式ARB0850の取扱説明書の不調処置一覧表の「梱包密度検出リンク部」を参照</li> <li>・「4-2-6 ナイフとシャバーの調整」に基づき調整する</li> <li>・「4-2-5 ナイフアームのセット調整」に基づき調整する</li> </ul>
	・ネットがペール中央による	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレーキアームがネットロールを押しさえていない</li> <li>・トラクタのPTO回転速度が遅い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1-2-2 ネットロールの装着」に基づき処置する</li> <li>・PTO回転速度を350~500rpmにする</li> </ul>
	・ブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチがOFFになっている</li> <li>・電池切れ</li> <li>・コードが正規に取付られていない</li> <li>・コードが断線している</li> <li>・スイッチとブラケット又はアームの位置ズレがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチをONにする</li> <li>・電池交換（積層乾電池 9V:6F22）</li> <li>・コードを正規に取付ける</li> <li>・コード交換</li> <li>・「4-2-1 梱包密度検出リンクの調整」及び「4-2-2 リミットスイッチの調整」に基づき調整</li> </ul>
梱包 密度 関係	・梱包がゆるい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチとブラケットの位置がズレている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4-2-1 梱包密度検出リンクの調整」に基づき調整</li> </ul>
	・シャーボルトが切断する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチとブラケットの位置がズレている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4-2-1 梱包密度検出リンクの調整」に基づき調整</li> </ul>

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 製品名         | 3. 製品番号            |
| 2. 部品供給型式 (型式) | 4. 故障内容 (できるだけ詳しく) |

## 5 部 品 表

### 部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式 (型式)
- ③ 部品名称 (部品表を参照してください。)
- ④ 部品番号 (部品表を参照してください。)
- ⑤ 個 数 (部品表を参照してください。)

※ 部品供給型式は取扱説明書・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

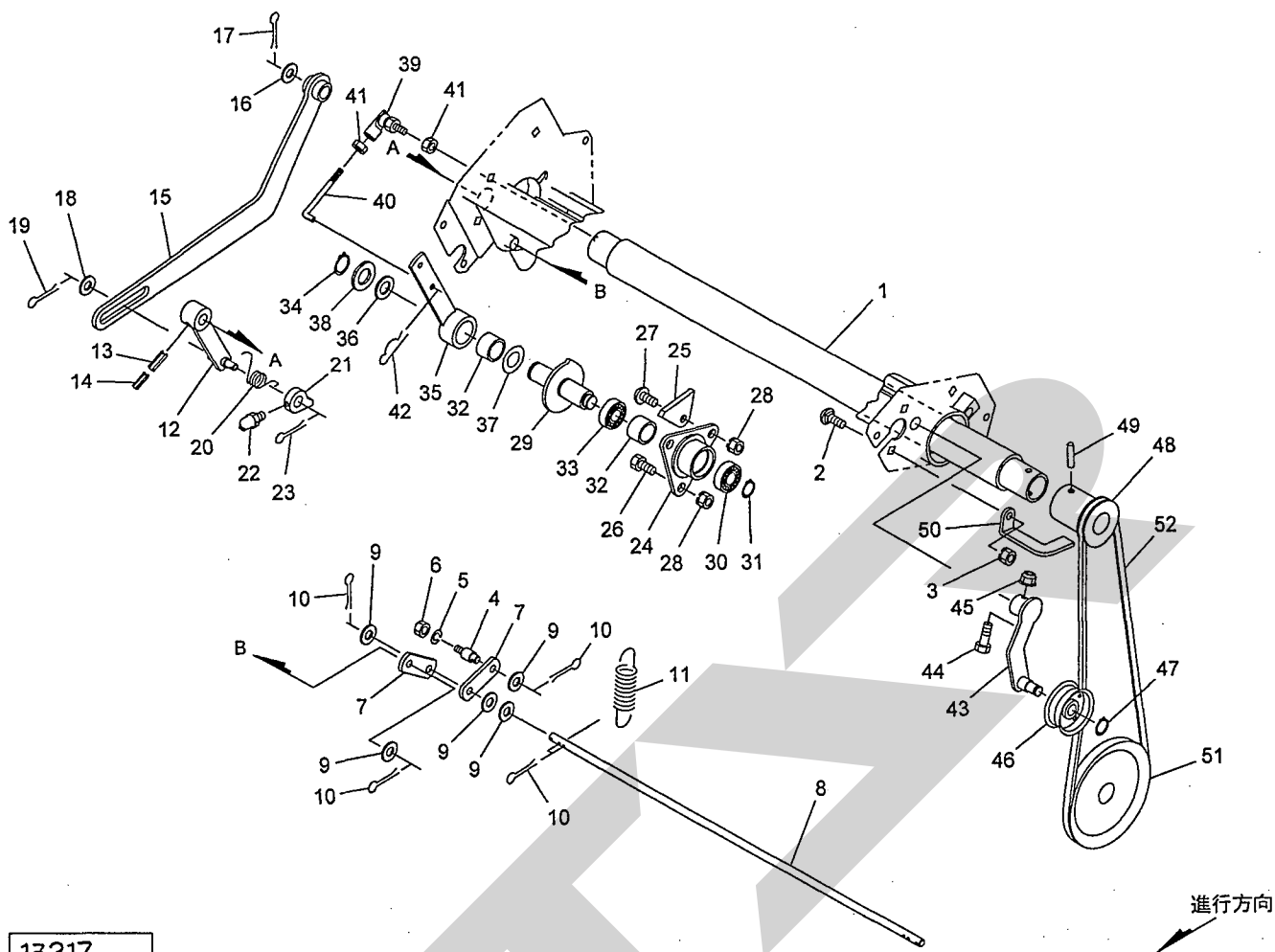
2. 個数欄の 、 は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部

### 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限 (期間) は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

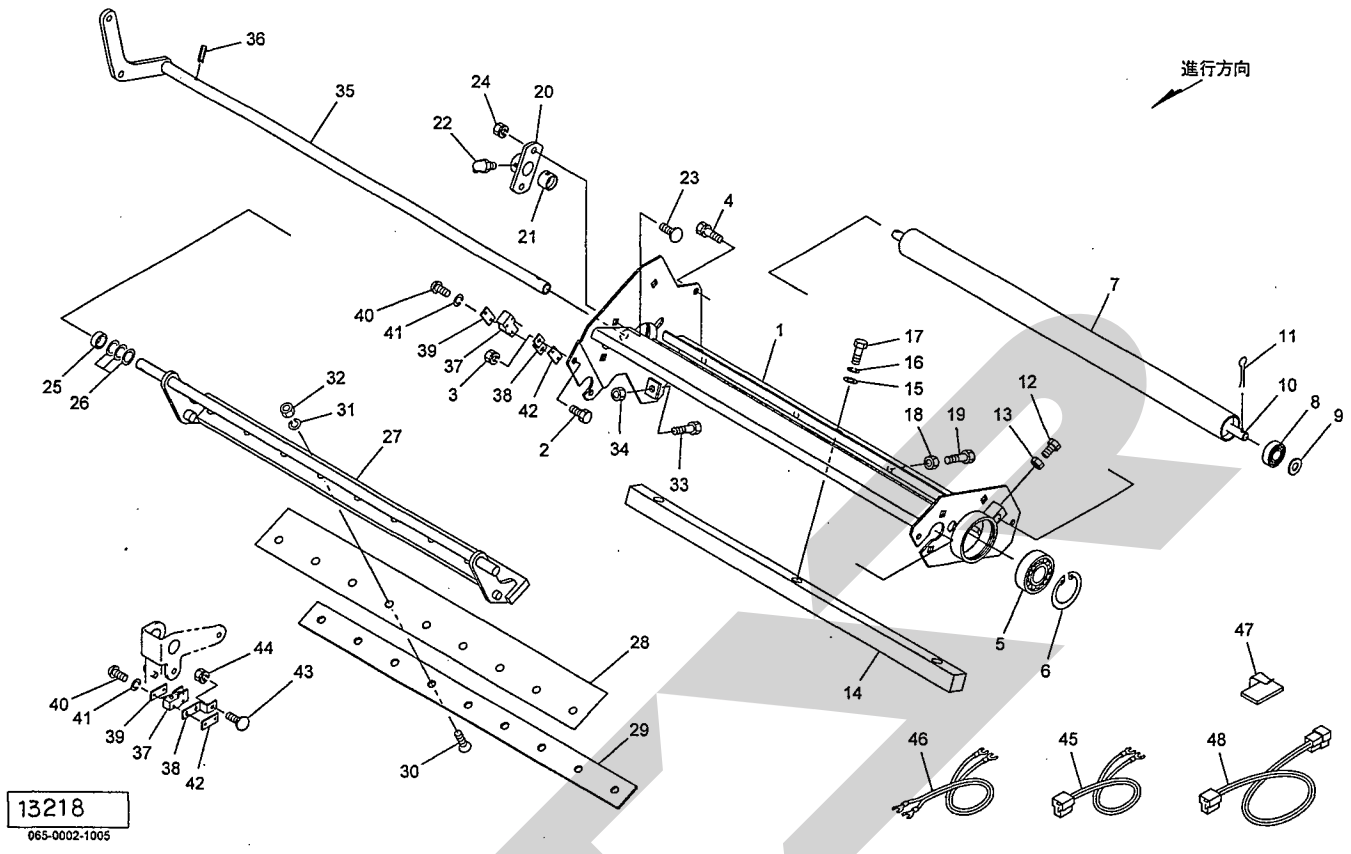


13217

065-0002-1006

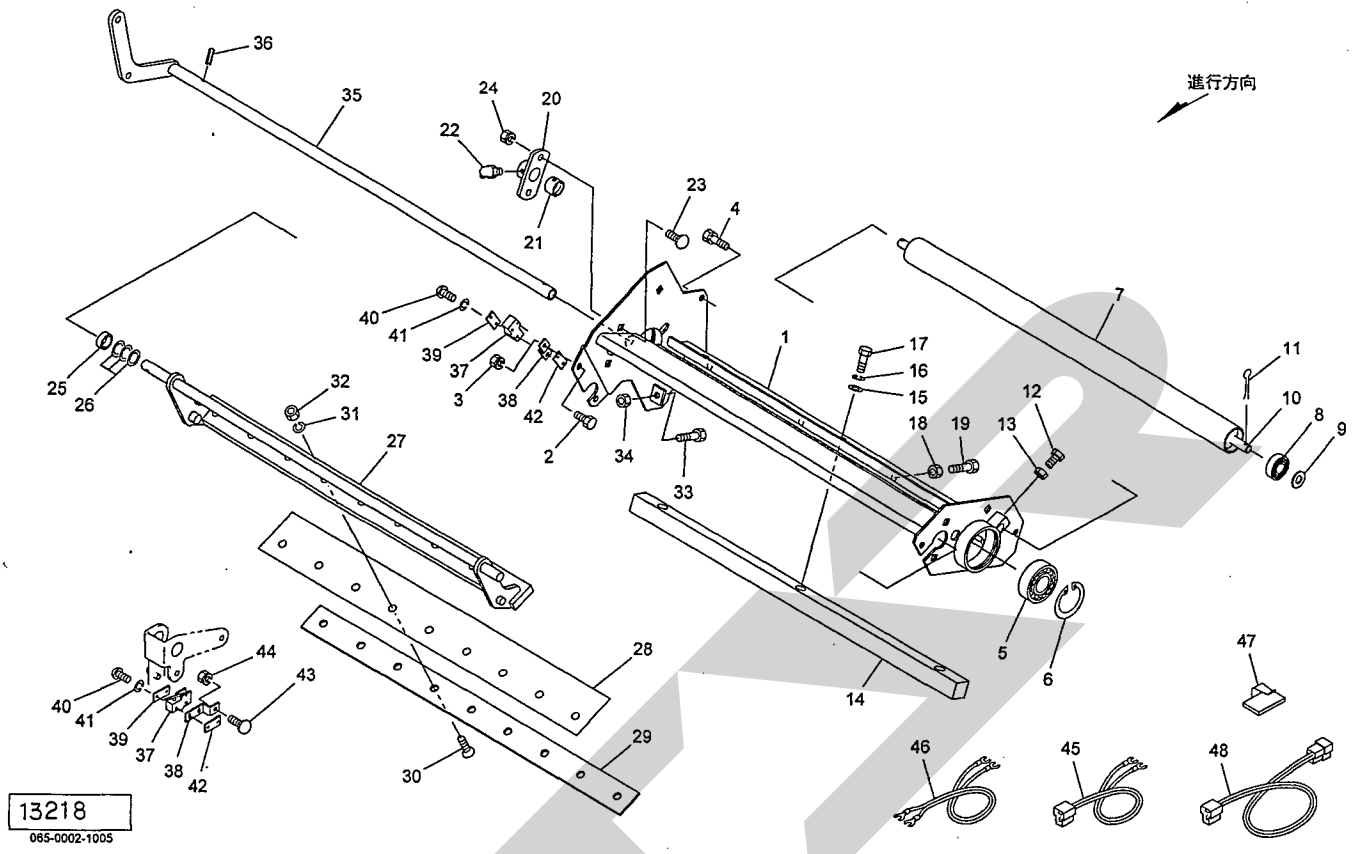
図番	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1226300000	ゴムローラCP	1	
2	059483000M	カクネボルト 8. 8 M8×25	1	
3	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	1	
4	122642000M	ピン	2	
5	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	2	
6	NZ12	ナット 8 2シュ M12	2	
7	122643000M	アーム	4	
8	122644000M	シャフト	1	
9	061847000M	ワッシャ17×1. 6	10	
10	PC040025	ワリピン 4×25	10	
11	122645000M	スプリング; H2. 9×20×95. 5	2	
12	122646000M	アームCP	1	
13	PS060030W	スプリングピン ダブルヨウ 6×30	1	
14	PS035030W	スプリングピン ダブルヨウ 3. 5×30	1	
15	122652000M	ロッドCP	1	
16	079334000M	ワッシャ; 21×1. 6	1	
17	PC032032	ワリピン 3. 2×32	1	
18	061847000M	ワッシャ17×1. 6	1	
19	PC040025	ワリピン 4×25	1	
20	1226510000	スプリング	1	
21	122650000M	ラッチ	1	
22	ONB6	グリースニップル B M6	1	
23	PC040025	ワリピン 4×25	1	
24	122668000M	ハウジング	1	
25	122685000M	ストッパ	1	



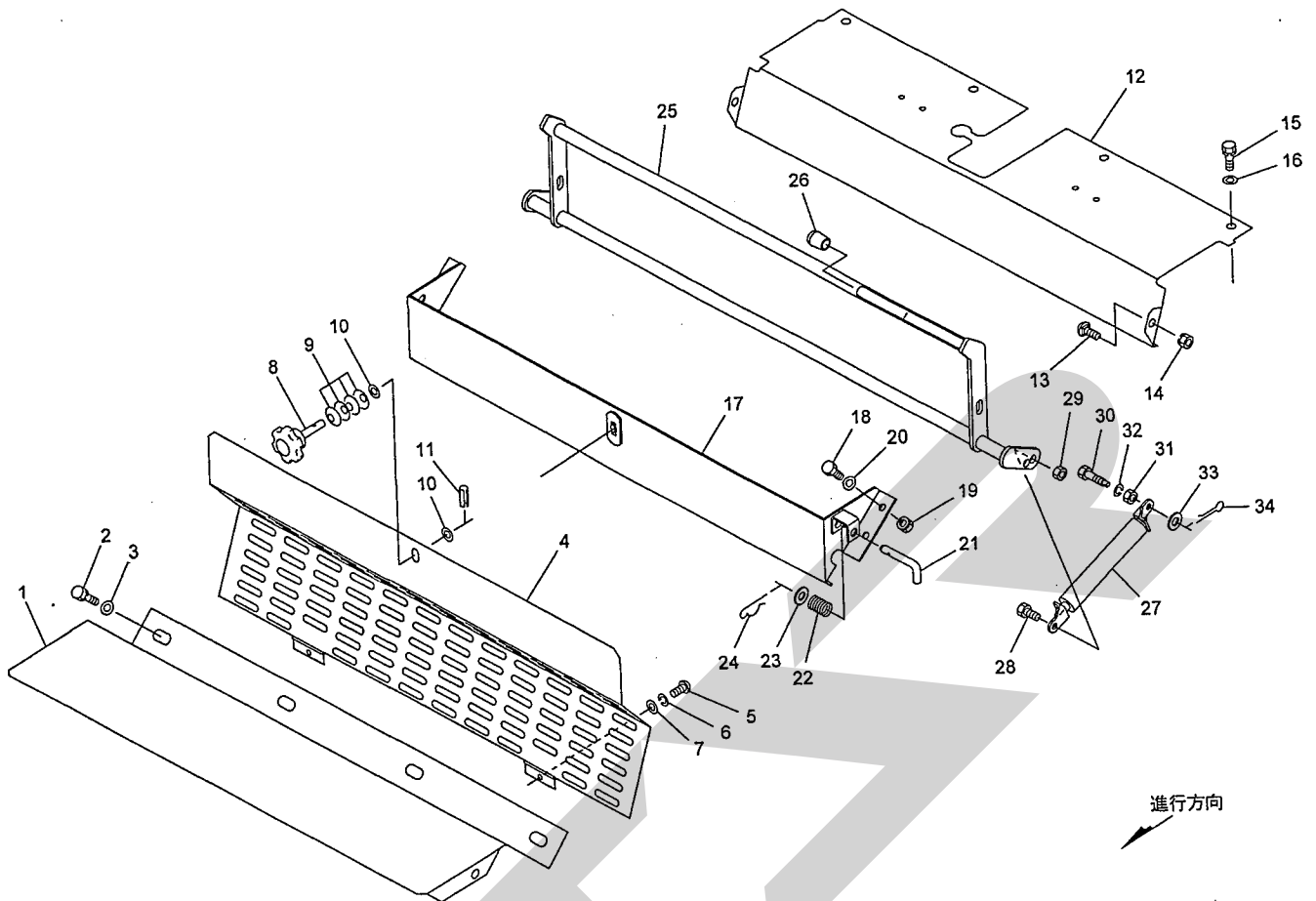


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1226210004	フレームCP	1	
2	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	5	
3	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	5	
4	BSPZ08020	コガタSWツキボルト 7 M8×20	2	
5	J6008LLU	ボールベアリング 6008LLU	2	
6	DHC068	Cガタメワ アナ 68	2	
7	122633000M	ローラ	1	
8	J6301LLU	ボールベアリング 6301LLU	1	
9	WRA12	ヒラザガネ M12	2	
10	1226340002	シャフト	1	
11	PC032016	ワリピン 3.2×16	2	
12	BSZ10020	コガタボルト 8 2シュ M10	2	
13	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	2	
14	1226410002	シャバー	1	
15	075290100M	ワッシャ; 10	3	
16	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	3	
17	BSZ10030	コガタボルト 7 M10×30	3	
18	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	4	
19	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	4	
20	0934871004	ハウジング CP	2	
21	0934880000	ブッシュ; 16×25	2	
22	ONB6	グリースニップル B M6	2	
23	055474000M	カクネボルト 8.8 M8×20	2	
24	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	2	
25	079160000M	ボス	1	





脚番	部品番号	部品名称	個数	備考
26	0883040000	シム; 16.5×22×1.0	—	
27	1226350004	ナイフアームCP	1	
28	1226390002	ナイフ	1	
29	122640000M	ナイフプレート	1	
30	BJ08030	サラキャップB 10.9 M8×30	9	
31	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	9	
32	NSZ08	コガタナット 8 2シュ M8	9	
33	BSZ08030	コガタボルト 7 M8×30	1	
34	NSZ08	コガタナット 8 2シュ M8	1	
35	122661000M	テンションレバーCP; 1	1	
36	PS060022	スプリングピン 6×22	1	
37	0801051000	スイッチ	2	
38	122881000M	スイッチベース	2	
39	116581000M	ワッシャ	2	
40	CP04030	+ナベコネジ M4×30	4	
41	WS04	バネザガネ 2ゴウ M4	4	
42	103207000M	プレート	2	
43	055474000M	カクネボルト 8.8 M8×20	1	
44	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	1	
45	0853131000	ケーブル	1	
46	1228820000	ケーブル	1	
47	0801070000	ケーブル クランプ	2	
48	0853490000	ケーブル	1	



13219  
065-0002-1004

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1228840004	ネットカバー CP ; 1	1	
2	BSPZ08020	コガタSWツキボルト 7 M8×20	6	
3	WRA08	ヒラザガネ M8	4	
4	1228850004	ネットカバーCP ; 2	1	
5	CP06012	ナベコネジ M6×12	2	
6	WS06	パネザガネ 2ゴウ M6	2	
7	WRA06	ヒラザガネ M6	2	
8	0796583000	ニギリ : 50	1	
9	079659100M	サラバネ	4	
10	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
11	PS040016	スプリングピン 4×16	1	
12	1228870003	トップカバーCP	1	
13	055032000M	カクネボルト 8.8 M8×15	2	
14	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	2	
15	BSPZ08020	コガタSWツキボルト 7 M8×20	4	
16	WRA08	ヒラザガネ M8	4	
17	1228880004	フロントカバーCP	1	
18	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	4	
19	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	4	
20	WRA08	ヒラザガネ M8	4	
21	122891000M	ピン	1	
22	067118000M	スプリング ; A メッキ	1	
23	WRA10	ヒラザガネ M10	1	
24	000085200M	ベータピン ; 8×16	1	
25	122687000M	ブレーキアームCP	1	



調整

S-000301A

本社	066-8555	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見営業所	090-0001	北見市小泉302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-0312	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985-0845	宮城県多賀城市町前2丁目4番27号 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
松本出張所	399-0033	長野県松本市大字笹賀5824-5 TEL 0263-26-5731 FAX 0263-26-5761
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862-0939	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885-0004	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644